

令和6年度もオレンジロードつなげ隊は各所で活動をしました。
ここにその様子をご紹介します。



★9月のアルツハイマー月間の取り組み★

* ミニコンサート開催 *

9月21日には、オレンジのライトアップ点灯に伴い、つなげ隊と有志によるミニコンサートが開催されました。

当日はあいにくの曇り空で少し肌寒さも感じられましたが、中丹東オレンジロードつなげ隊イメージソング「このまちに生きたい」を披露しました。



ミニコンサート見学者

楽器演奏や歌声が見学者を巻き込み、全体合唱となった時には、

“認知症になっても安心してこのまちに住み続けたい”
という思いをみんなで共有する時間となりました。



有志によるミニコンサート



* 映画上映会 *

令和6年9月21日



舞鶴総合文化会館

ライトアップ点灯に先立ち、舞鶴市・綾部市において映画「オレンジランプ」の上映会が実施されました。

若年性認知症と診断された丹野智文氏をモデルとした映画です。丹野氏は38歳の時に診断され、一時は仕事を辞めようと考えましたが、家族や周りの人の理解があり仕事を継続することができました。丹野氏は現在も「認知症を抱えている人を元気づけたい」と発信し続けておられます。

午前には綾部市のI Tビル・午後から舞鶴総合文化会館にて上映があり、両市で約500名以上の方が来場され、多くの方が認知症について関心を持たれていると感じました。

* 舞鶴・綾部の取り組み *

綾部市・舞鶴市の各庁舎にて、ポスター等の展示・のぼり旗を掲示し、中丹東保健所では、オレンジ色にライトアップを実施し認知症に関する啓発活動を行いました。



綾部総合庁舎沿道



中丹東保健所

★市民向け在宅医療推進映画上映会★

厚生労働省は11月30を「人生会議の日：ACP（アドバンス・ケア・プランニング）」として定め、各地で普及啓発活動が実施されました。

綾部市で11月16日に「人生会議の日」の普及啓発を目的とした映画「ケアニン こころに咲く花」の上映会がありました。

会場入り口付近にて、オレンジロードつなげ隊による認知症啓発のチラシやパンフレットを配布しました。



綾部市ITビル会場入り口付近

★「まいてフェスタ」に参加しました★



まいてフェスタ



12月15日に舞鶴市中総合会館で開催された「まいてフェスタ」に参加しました。

そのなかで、脳年齢テストと認知症に関するクイズや、認知症に対する思い等のアンケートを実施しました。

脳年齢テストでは、テスト前は悪い結果が出ることへの不安から、心配そうな顔つきをされておられる方もいましたが、帰られる時は笑顔でブースを後にされていました。

認知症は決して怖いものではありません。

正しい知識と理解を持って接することにより、その人がその人らしい生活を送ることができます。

そのためにも、地域の人々に正しい知識と理解を広めていかなければならないと思いました。

発行：中丹東オレンジロードつなげ隊

— 編集後記 —

認知症の人が尊厳を保持しつつ希望を持って暮らすことができるよう、共生社会の実現を推進するための認知症基本法が、令和6年1月1日に施行されました。

今や認知症は私たちにとって身近なものとなっており、認知症について今一度しっかりと理解する必要があると感じます。

今後も私たちオレンジロードつなげ隊は、認知症の知識やさまざまな情報を提供するなど、啓発活動に取り組んで参りたいと思います。

《編集担当班》

つなげ隊の活動

★ミニコンサート	18名
★アルツハイマーデー 映画上映会	
綾部市 来場者	107名
舞鶴市 来場者	402名
★人生会議の日 映画上映会 来場者	60名
★まいてフェスタ	
脳年齢テスト	35名
クイズ・アンケート	37名

【事務局】

京都府中丹東保健所

保健課 地域包括支援係

中丹東オレンジロードつなげ隊

心でつなぐ、地域でつなぐ
“認知症”

認知症になっても安心して暮らせる
社会の実現をめざしています